

ふるさと奥尻通信

平成29年7月31日
奥尻町教育委員会発行
事務局：01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭言

辛かった時、悲しかった時、いつも私を支えてくれた音楽で君達に元気になってもらおうと思いたったのです。君達がこんな天災などに負けず、以前のようにまた元気に授業を始めたいことを願って、「音楽の魔法の箱」を贈ります。 1993年8月27日 スタニスラフ・ブーニン

特集 稲穂小学校日誌にみる北海道南西沖地震災害

震災から24年目を迎えました。島内は25回忌の法要が各遺族会の手で営まれ、小学校では防災教育として体験者による語りが行われました。ここにあらためて防災意識の再確認とその重要性を説きたいと思います。

さて、この地震で唯一津波被害に遭い、校舎が全壊した稲穂小学校の当時の学校日誌を紐解きながら、地震発生からの8ヶ月間を振り返ってみます。

平成5年(1993)7月12日(月曜日)午後10時17分、北海道南西沖地震発生、最短で約3分後には島の北西部稲穂地区(75世帯231名)に津波が襲来、稲穂岬より後方の集落一帯と稲穂小学校が被災。同校の児童、教職員は全員無事ながらも、児童の父兄1名が帰らぬ人。地区全体では死者12名、行方不明者3名をだしました。校舎は津波によって壊れ、教員住宅も全壊、ピアノも校庭まで流されるなど、学校は即日臨時休校となりました。14日には早くもNHKの取材が入り、全国に被害状況が伝えられ、注目を集めることとなります。その一人に世界的ピアニスト、スタニスラフ・ブーニンがいました。



奥尻小で間借り



仮校舎の前でボール遊び

7月20日に父母との話し合いがもたれ、22日には新校舎を建設することが決定しています。夏休み期間中に体育館内のへどろ搬出、撤去予定の校舎前での記念撮影、天皇皇后両陛下の行幸啓などがあり、続々と届く見舞い品や激励文の整理に追われる日々でした。その間にも7月29日に震度4、8月8日に震度5の余震が続き不安な毎日を過ごしたことでしょう。避難生活は、レストラン「波濤」に30名のべ442人、野名前地区の自治会館に30名のべ777人におよびました。

8月13日、校庭に完成した仮設住宅14戸に14世帯32人が仮住まいを開始し、二学期は奥尻小に間借りする形でスタート。その後はブーニンより寄贈されたピアノの贈呈式、寄贈された仮設校舎の落成、引渡しがあり、10月5日には被災した稲穂小校舎が解体され、児童の涙を誘いました。10月8日に待望の仮校舎へ移転し、4部屋と狭いながらも独立した学校運営が始まりました。この頃、テレビ各社や新聞社などの取材が続き、被災地でもたくましく勉強に励む児童の姿が記録、放映されました。11月に入ると、来年に迫る開校百周年事業に係る町への陳情、床上浸水した体育館の床材張り替えの他、基礎の杭打ちがされて新築工事が開始。16日には泉谷しげるが来島し、各学校を慰問公演してまわり、生徒全員にサインをプレゼントしたとか。他にも、マイクロバスとワゴン車(通称「泉谷号」)を寄贈してくれました。11月13日に校舎新築工事が開始(工事は翌年3月31日完成、6月12日に落成式及び開校百周年記念式を挙げる。)され、2月には持ち越されていた学習発表会が行われました。3月24日、卒業生1名の卒業式を挙げる、同26日教職員離任、送別会が行われ、激動の平成5年度行事が終わりました。

☆平成5年7月度学校日誌抜粋☆

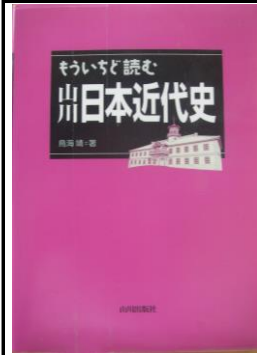
7月12日	午後10時17分大地震、津波
7月13日	校舎全壊、児童全員無事、休校
7月14日	重要書類職員室へ、NHK取材
7月15日	町長視察
7月16日	臨時休校続く
7月17日	教育局長ら視察、保護者通夜
7月18日	通知表作り、衆議院選挙
7月19日	学校便り作成、保護者告别式
7月20日	1学期終業式、父母との話し合い
7月21日	夏季休業(8月20日まで)土砂搬出
7月22日	校舎新築決定
7月23日	災害状況報告作成、教科書受取り
7月24日	へどろ搬出、鉢呂議員視察
7月25日	全児童校舎前で記念撮影
7月26日	事務整理
7月27日	天皇皇后両陛下ご来島
7月28日	避難所撤去(レストラン波濤)
7月29日	大雨地滑り警報、余震(震度4)
7月30日	お見舞い(激励文)整理
7月31日	家庭訪問

☆平成5年8月以降学校日誌抜粋☆

8月1日	見舞品、見舞金整理
8月2日	校舎再建について懇談会
8月5日	礼状書き
8月7日	校長、教頭避難所撤去
8月8日	4時42分頃地震(震度5)
8月10日	奥小と仮住まいの打合せ
8月11日	仮校舎を稲穂に建設するよう要望
8月13日	仮設住宅に入居
8月16日	児童用救援物資配布
8月19日	災害見舞金支給(共済、互助会)
8月21日	第2学期始業式(奥尻小)
8月23日	報道関係者多数
8月31日	ピアノ贈呈式
9月11日	合同慰霊祭(青苗中)
9月16日	仮校舎引渡し
9月24日	仮校舎引渡し式(新日鐵)
9月29日	ピアノ到着(ブーニンより寄贈)
10月5日	稲穂小校舎解体
10月8日	仮校舎へ移転
10月29日	米海兵隊慰問(岩国基地)
11月1日	開校百周年事業陳情
11月5日	体育館床改修開始
11月13日	新校舎杭打ち開始
11月16日	泉谷しげるキャンペーン(宮小)
12月27日	第2学期終業式
1月13日	校舎建設工事開始
2月20日	学習発表会
3月24日	第86回卒業式
3月26日	離任式、PTA送別会



平成5年11月13日起工、同年3月31日完成。木造平屋建、総面積591㎡。設計：長尾設計事務所、建設工事：田畑建設・伊藤建設、電気工事：共栄電気・奥尻電機。国庫補助金103,821千円、起債39,600千円、町費56,399千円で総工費199,820千円。集落全域で津波被害を受けた稲穂地区(稲穂、野名前)では、道路及び宅地に盛土をして地盤をかさ上げし、新たな街づくりをスタートさせました。中でも稲穂小学校は地域の中心であり、地元住民からの強い要望もあっていち早く同地に再建されることとなりました。工事は、年をまたいだ突貫工事となりました。



学芸員オス
スメの一冊を
ご紹介しま
す。本は海洋
研修センター
図書室で借り
られます。

もういちど読む山川日本近代史
鳥海靖

歴史区分は様々あるのですが、本書では日本の近現代史として幕末の黒船到来から第二次大戦で日本が敗戦に至るまでの期間を扱っています。この期間は人類史上でも日本史上でも数々の社会の混乱が生まれた時代であり、概念の破壊と構築、または一大転換などの画期が連続した時代でもありました。これを知らずして現代史を語ることは不可能です。

月刊 奥尻のつり 7月号

7月に入りまして、磯は見事に「夏枯れ」です。テトラの穴釣りで20センチ前後のハチガラとたわむれるのがせいぜい。ブリやヒラメもだんだんいなくなって来ました。この時期にやって来るのが、ヒラツメガニです。砂場の沿岸からイカの足をくり付けて投げると、すぐにグングンという大きめのアタリがあります。後はゆっくりと巻き上げてくると、カニが仕掛けに絡まって上がってくるのです。単純な方法ですが、群れがいると面白いようにたくさん釣れます。いない時はさっぱりです。食べ方は味噌汁が美味です。6月のマダイ騒動はひと段落し、続報は聞かれませんが、やはり幻の1匹を釣り上げたのでしょうか。二匹目のドジョウはいませんでした。もしいたら、大騒ぎになっていたことでしょう。弁天様も足元が騒がしくて怒ってしまいますよ。

昭和奥尻生活詩 新谷清二の鳥賊つけ1ヶ月 第23回

釣石尋常小学校高等科二年生 文集「鳥の子」第八号より
る俺をだらんいにては十賊なり鳥入るののだがを七
んはよ。なだ。な入、。銭はやす賊達。で。、数朝月
だこくせい。いっれ船雨す天れつとも今家此雨え鳥二
。のせっしそやたてか鳥る気とばけ手日のの鳥て賊十
鳥な角鳥う休。運ら賊んさ言さて伝も人頃賊みつ六
でい此もでお毎ん家ばだえっ来っ船た雨にたけ日
働なのさ無時日だのがよばてて上ちばならかへ日
くん鳥びいがだ。前り、け言り皆一げはかる二ら日
んでにれと家。俺のだ此れた金雨此てこりの十帰曜
だの生るな休毎決。のば。に鳥んいば続で八っ日
。はまばはのお日に船雨一犬な賊なたいし、尾て
家恥れか良で時洗モ上降円さらに大らてて九張、
をだてりく良がうッげで二いなばき隣いい十っ鳥
守。鳥 ないな役コ 三鳥いかなの る銭た賊

その他上船ことたと要前十
たよ、かでの灯。もと地四七
。うら岬日籠ましガ区年月
に時流のはがた火ラでと十二
口空さ沖波流、がスはな二日
ウ翔れまがさ青点浮慰り日
ソてで悪れ苗け玉霊ま、地
ク前い向いま岬らを碑し、震
がでまかたしでれ加のた震
並もしいめたはまし工前。発
び例た、、が法しで初生
ま年。洋漁、要 た法松二

慰霊行事永く...



記念の盾を贈呈

た汁もホれしま客と年港奥ま
。に振ッたけし船なにし戻しに七
満ると経したのり続たのたっ月
足舞し緯がが寄まきも二。ぼ三
そわたが接、港し二の島金ん日、
うれ表あ岸荒がた度でを沢丸、
なた情りで天計。目す巡発一、青
表地。、きの画昨の。る着が苗
情酒お関ずたさ年上二船の姿に
でや客係見めれも陸〇旅利をに
し三さ者送、て大成一で尻現
平んもらばい型功四寄とし

にっぽん丸奇港

ズりし気張のし陸よ後に四
ンとた温し後たでうは沈日今
もとねもた、地はに蒸ん月
やも。収の内城三思しでもは
つに八まで陸も十い暑お欠初
て奥月つすのあ五まいり航日
き尻にたが遠つ℃す日まし、ら
まのは頃、軽た位。がし、濃飛
す。祭暑でち町とま道多。霧行
りさ幸よまか。で内か。霧行
シの運うで。上のつそ。の機
一盛でど出そ昇内たの中が

新糸之記録 (編集後記)

なしてする(も業校三撤残研
りくき。ま現のの舎年去つ修七
ま、ま二で同で組にのさてセ月
しこし四使セ、合代地れいン下
たのた年用ン九がわ震またタ旬、
たが間さタ四寄り津しプー、
び、のれ一、年贈、波たレに稲
お老風た)にしとで。ハ隣穂
役朽雪もが新てあ倒コブ接ふ
御化にの完校くる壊れ校しれ
免が耐で成舎れ建しは捨てあ
と著えす た設た九がい

旧稲穂小の仮設校舎撤去



カランセ奥尻就航記念缶バッチ